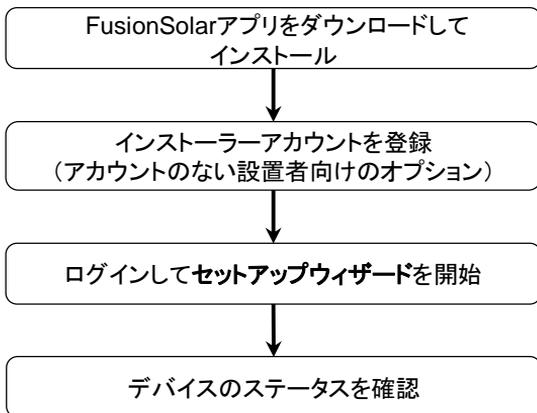


FusionSolarアプリのクイック設定操作手順



本書は、以下のシナリオに適用されます。

- WLANを内蔵したインバータのローカル試運転
- スマートUSB-WLANアダプターを装着したインバータのローカル試運転
- RS485カスケードネットワーク接続
- SmartLogger搭載インバータのローカル試運転

よくあるご質問

デバイスの試運転を使用したPVモジュールの物理配置設計(オブティマイザを使用した場合向けのオプション)

SmartPVMS WebUIを使用したPVモジュールの物理配置設計(オブティマイザを使用した場合向けのオプション)

- 図は参照用です。
- インバータのWLANを接続する初期パスワードは、**Changeme**です。
- システムにログインします。初期パスワードを使用します。スマートUSB-WLANアダプターを接続する初期パスワードは、**Changeme**です。
- **上級ユーザー/設置業者**の初期パスワードは、**0000a**です。パスワードの設定を求めるメッセージが表示された場合は、最初に電源を投入するときにパスワードを設定してログインし、ログイン後直ちにパスワードを変更してください。
- アカウントの安全性を確保するために、パスワードを定期的に変更し、新しいパスワードを忘れないようにしてください。初期パスワードを変更しないと、パスワードが漏洩するおそれがあります。パスワードを長期間変更しないと、盗まれたり、解読されたりする場合があります。パスワードを失念してしまうと、設備にアクセスできなくなります。このような場合、ユーザーはPVプラントに生じたあらゆる損失に対して責任を負います。

1.FusionSolarアプリをダウンロードしてインストール

方法1:

HUAWEI AppGalleryでFusionSolarを検索し、ダウンロードしてインストールします。

方法2:

モバイル端末のブラウザを使用して、<https://solar.huawei.com>にアクセスし、最新のインストールパッケージをダウンロードします。



HUAWEIと共に、新たなスマートソーラーの時代へ

ファーウェイは、30年以上に渡って蓄積されたデジタル情報技術と太陽光発電を融合し、最先端のスマート・ソーラーソリューションを提供しています。太陽光発電には、AIやクラウドなどのICT革新な融合技術を提供し、「高効率の発電、スマート化O&M、高い安全性&信頼性、電力系統にフレンドリ」の太陽光発電所を作り、太陽光発電が主力電源への進化に寄与しています。電力消費において、「アクティビゼータティと発電コスト軽減」を目指し、ファーウェイは企業と家庭ユーザー向けにグリーン電力ソリューションを提供し、発電の自家消費率を高め、住宅の24時間グリーン電力利用を業界先駆けて実現し、電力新時代の先駆者としての役割を果たしています。ファーウェイはスマートソーラーに

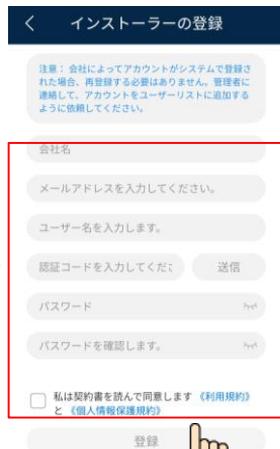
方法3: QRコードをスキャンし、アプリをダウンロードしてインストールします。



FusionSolar

2. インストーラーアカウントを登録(アカウントのない設置者向けのオプション)

初期インストーラーアカウントを登録し、会社のアカウントを作成します。



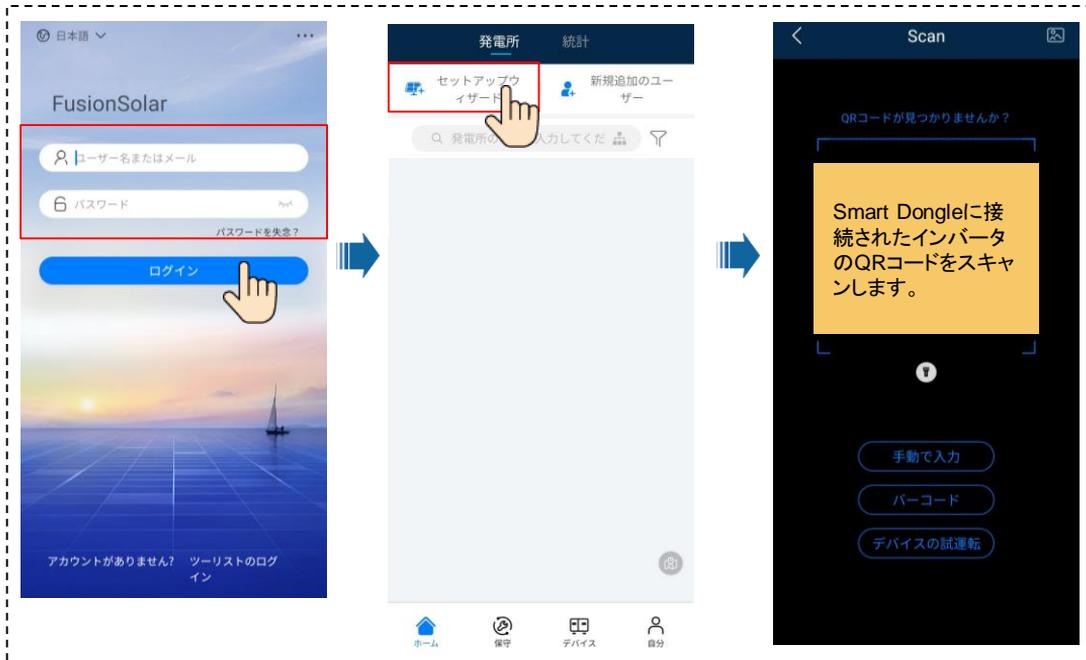
注:
メールアドレスとユーザー名のどちらもFusionSolarアプリへのログインに使用できます。

同一の会社に複数のインストーラーアカウントを作成するには、FusionSolarアプリにログインして、新規追加のユーザーをタップします。



3. ログインしてセットアップウィザードを開始

・インバータの内蔵WLANを使用したローカル試運転



カスケード接続でない場合は、カスケードインバータの検索の手順は不要です。



ネットワークパラメータとドメイン名を設定。

FE通信

FE通信

クイック設定

デバイス管理 完了

基本パラメータ 通信ネットワーク

管理システムへのアクセスはお客様によって承認される必要があります。

管理システムを通じて発電所を監視

管理システムパラメータの設定

ドメイン名 >

ポート番号 27250

TLS暗号化

遠隔自動更新

インバータをルーターに接続する際のパラメータを設定

DHCP

インターネットが無効になっている場合、ネットワークケーブルが接続されていません。ネットワークケーブルを再接続します。

前へ 次へ

WLAN通信

WLAN通信

クイック設定

デバイス管理 完了

基本パラメータ 通信ネットワーク

管理システムへのアクセスはお客様によって承認される必要があります。

管理システムを通じて発電所を監視

有線ネットワーク接続を有効化

管理システムパラメータの設定

ドメイン名 >

ポート番号 27250

TLS暗号化

遠隔自動更新

インバータをルーターに接続する際のパラメータを設定

WLAN

パスワード

インターネットに接続可能なルーターを選択し、ルーターのパスワードを入力します。

前へ 次へ

4G通信

4G通信

クイック設定

デバイス管理 完了

基本パラメータ 通信ネットワーク

管理システムへのアクセスはお客様によって承認される必要があります。

管理システムを通じて発電所を監視

管理システムパラメータの設定

ドメイン名 >

ポート番号 27250

TLS暗号化

遠隔自動更新

ドングルパラメータ設定

APNモード 自動

ネットワークモード 4G/3G/2G自動選択

前へ 次へ

注:
管理システムを通じて発電所を監視を有効化します。
ドメイン名を
intl.fusionsolar.huawei.com
に設定します。

APNモードはデフォルトで自動に設定されています。このモードを使用してインターネットにアクセスできない場合は、パラメータを手動に設定します。その場合、SIMカード関連のパラメータは通信事業者から取得した情報に基づいて設定してください。

クイック設定

デバイス管理 完了

基本パラメータ 通信ネットワーク

管理システムへのアクセスはお客様によって承認される必要があります。

管理システムを通じて発電所を監視

電波強度	強い(-33dBm)
IPアドレス	192.168.169.178
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.169.1
MACアドレス	28:DE:E5:19:AB:A3

前へ 次へ

クイック設定

デバイス管理 完了

基本パラメータ 通信ネットワーク

クイック設定が完了しました。以下を確認してください

- 管理システムに接続 成功
- インバータ SUN2000-5KTL-L1 1台 停止: 指令停止
- 電力計 DDU6666-H(単相) 1台 正常
- オブティマイザ SUN2000-450W-P 42% 検索中... 次のステップに進むことができます。

前へ 完了

発電所を追加。

発電所の作成

発電所を追加 >

既存の発電所に接続 >

後で

発電所を追加

1 基本情報 2 デバイスの追加

*国/地域 国/地域 >

*発電所所属 発電所所属 >

*発電所名称

合計ストリング容量 (kWp)

*連系日 2021/04/07 >

*発電所の所在地 発電所の所在地を入力または特定してください。

*発電所の時間帯 (UTC+08:00)北京

所有者 所有者の名前

連絡方法 電話番号/メールアドレス

居住ユーザーの承認を得ました

入力した内容に第三者の個人情報が含まれている場合は、事前に承認を得てください。

次へ

発電所を追加

1 基本情報 2 デバイスの追加

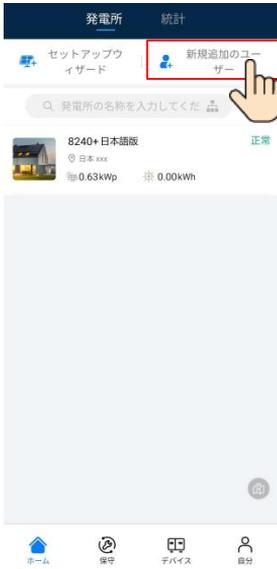
設備SN デバイスのSNをスキャンしてください。

追加されたデバイス

設備SN番号
設備タイプ
設備型番
接続されたデバイス >

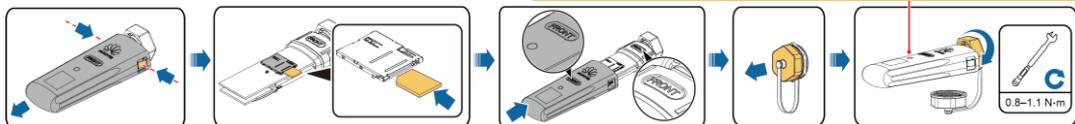
前へ 提出

所有者アカウントを作成。



・スマートUSB-WLANアダプターを使用したローカル試運転

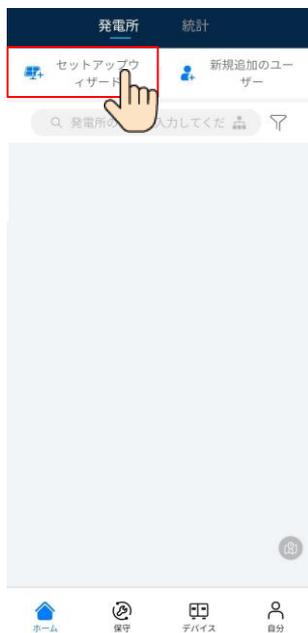
インジケータのステータスを確認します。インジケータが2秒間隔で緑色に点滅(0.1秒点灯後、1.9秒消灯)したら、4G Smart Dongleを取り外してください。



WLANモジュール

注:

商用インバータを試運転する前に、4G Smart Dongleを接続してパラメータを確認します。インジケータのステータスが正常な場合、Smart Dongleを取り外してから、USB-WLANアダプターを接続して試運転を開始します。



ID認証

インストーラーユーザーでアプリにログインします。上級ユーザーの初期パスワードは、**00000a**です。パスワードの設定を求めるメッセージが表示された場合は、最初に電源を投入するときにパスワードを設定してログインし、ログイン後直ちにパスワードを変更してください。

上級ユーザー

パスワードを入力してください。

キャンセル ログイン

SUN2000-5KTL-L1

出力有効電力 0.100 kw	本日の発電量 0.48 kWh
当月発生電力 11.71 kWh	合計発電量 84.51 kWh

アラーム


 クイック設定

初めてログインすると、クイック設定画面がデフォルトで表示されます。

設定 電力調整

クイック設定

完了

基本パラメータ 通信ネットワーク

電力系統識別コード EN50549-LV

電圧レベル 230V

系統周波数

端末時刻

端末タイムゾーン UTC+08:00

端末の時刻で同期

端末の時刻で同期を有効化すると、インバータの時刻とタイムゾーンがモバイル端末と同期します。

次へ

カスケード接続でない場合は、カスケードインバータの検索の手順は不要です。

クイック設定

完了

基本パラメータ 通信ネットワーク


 SUN2000-5KTL-L1

検出されたデバイスが接続されているデバイスと一致していません(確認)してください。

● オンライン ● オフライン

バッテリーのインジケータが点灯してから2分経過してもバッテリーが検出されない場合、記録を確認してください。


 カスケードインバータ
0台

電力計
DDSU666-H(単相)

バッテリー オプティマイザ
検索中... 続行する場合、「次へ」をタップしてください。

前へ 次へ

カスケードインバータ

ネットワークモード
RS485

0
インバータ
カスケードインバータの検索

デバイス管理

カスケードインバータ

ネットワークモード
RS485

1
インバータ
カスケードインバータの検索

デバイス管理
SNXXXXXXXXXXXX 成功
アドレス:2

完了

ネットワークパラメータとドメイン名を設定。



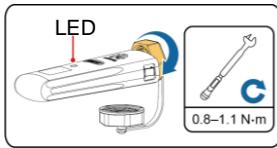
4G通信

管理システムを通じて発電所を監視を有効化します。
ドメイン名を **intl.fusionsolar.huawei.com** に設定します。

APNモードはデフォルトで自動に設定されています。このモードを使用してインターネットにアクセスできない場合は、パラメータを手動に設定します。その場合、SIMカード関連のパラメータは通信事業者から取得した情報に基づいて設定してください。



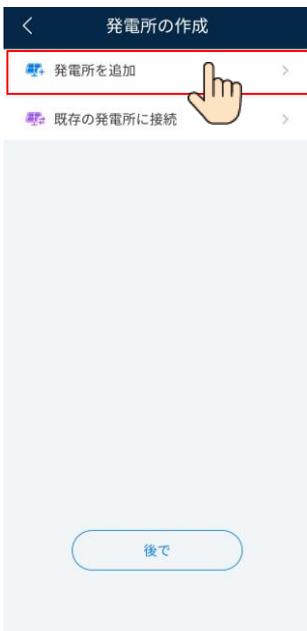
管理システムに接続。



試運転が完了したら、USB-WLANモジュールを取り外し、4Gモジュールを取り付けます。インジケータのステータスを確認します。インジケータが緑色で点灯するか、短い間隔(0.2秒点灯後、0.2秒消灯)で点滅したら、PV発電所を追加します。



発電所を追加。



所有者アカウントを作成。

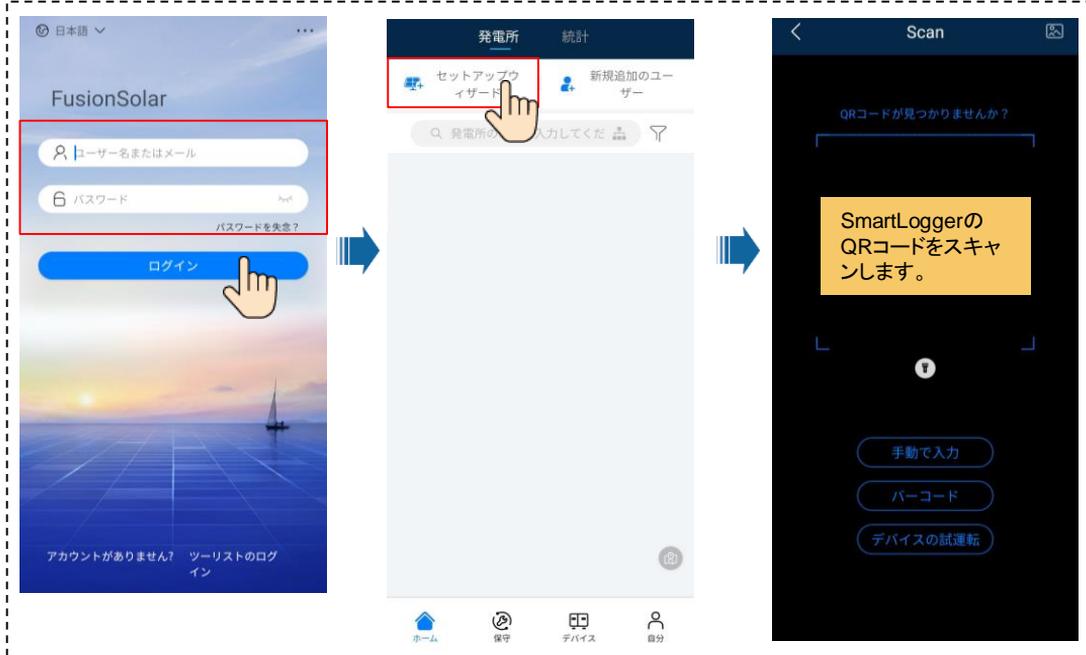


Smart Dongleのインジケータ

LED		注	説明
色	ステータス		
N/A	消灯	正常	ドングルがしっかり固定されていないか、電源がオンになっていません。
黄（緑と赤が同時に点滅）	点灯		ドングルがしっかり固定されて電源がオンになっています。
緑	2秒周期で点滅 (0.1秒点灯後、 1.9秒消灯)	正常	ダイヤル中(時間は1分未満)
		異常	時間が1分を超える場合、4Gパラメータの設定が正しくありません。パラメータをリセットしてください。
	長い間隔で点滅 (1秒点灯後、 1秒消灯)	正常	ダイヤルアップ接続の確立に成功しました(時間は30秒未満)。
		異常	時間が30秒を超える場合、管理システムパラメータの設定が正しくありません。パラメータをリセットしてください。
点灯	正常	管理システムに正常に接続しました。	
短い間隔で点滅 (0.2秒点灯後、 0.2秒消灯)			インバータがドングルを使用して管理システムと通信中です。

LED		注	説明
色	ステータス		
赤	点灯	異常	ドングルが故障しています。ドングルを交換してください。
	短い間隔で点滅 (0.2秒点灯後、 0.2秒消灯)		ドングルにSIMカードが挿入されていないかSIMカードが接触不良です。SIMカードが挿入されているか、接触が良好かを確認してください。SIMカードが挿入されていない場合は挿入し、接触不良の場合はSIMカードを抜き差ししてください。
	長い間隔で点滅 (1秒点灯後、 1秒消灯)		圏外か、電波が弱い、通信残容量がないため、ドングルが管理システムに接続できません。ドングルがしっかり接続されている場合は、アプリを使用してSIMカードの電波をご確認ください。電波を受信できないか電波強度が弱い場合は、通信事業者にお問い合わせください。SIMカードの残高および通信残容量があるか確認します。ない場合は、SIMカードを再チャージするか、通信容量を購入します。
赤と緑が交互に 点滅	長い間隔で点滅 (赤1秒、緑1秒)	正常	インバータと通信できません <ul style="list-style-type: none"> ドングルを抜き差しします。 インバータがドングルに対応しているか確認します。 ドングルを他のインバータに接続します。ドングルまたはインバータのUSBポートが故障していないか確認します。
	短い間隔で点滅 (赤0.2秒、緑0.2秒)		ドングルをローカルで更新中です。

・インバータのSmartLoggerを使用したローカル試運転





ネットワークパラメータとドメイン名を設定。

ワイヤレスネットワーク

クイック設定

デバイス管理 通信ネットワーク
基本パラメータ 蓄電制御 完了

ネットワーク設定

管理システムを通じて発電所を監視



管理システムパラメータ

ドメイン名 >

ポート番号 16100

TLS暗号化

モバイルネットワークパラメータ ^

ネットワークモード 4G/3G/2G自動選択 v

APNモード 自動 v

有線ネットワークパラメータ ^

前へ 次へ

イーサネット

クイック設定

デバイス管理 通信ネットワーク
基本パラメータ 蓄電制御 完了

ネットワーク設定

管理システムを通じて発電所を監視



管理システムパラメータ

ドメイン名 >

ポート番号 16100

TLS暗号化

モバイルネットワークパラメータ v

有線ネットワークパラメータ ^

IPアドレスの自動取得

*IPアドレス 192.168.8.114

前へ 次へ

注:

イーサネットを自動に設定します。このモードを使用してインターネットにアクセスできない場合は、パラメータを手動に設定します。

APNモードはデフォルトで自動に設定されています。このモードを使用してインターネットにアクセスできない場合は、パラメータを手動に設定します。その場合、SIMカード関連のパラメータは通信事業者から取得した情報に基づいて設定してください。

クイック設定

デバイス管理 通信ネットワーク 完了

基本パラメータ 蓄電制御

管理システムパラメータ

ドメイン名 81.71.73.114 >

ポート番号 16100

TLS暗号化

モバイルネットワークパラメータ >

有線ネットワークパラメータ <

IPアドレスの自動取得

*IPアドレス

*サブネットマスク 255.255.255.0

*ゲートウェイ 192.168.8.1

プライマリDNSサーバー 192.168.8.1

セカンダリDNSサーバー 0.0.0.0

前へ 次へ

クイック設定

デバイス管理 通信ネットワーク 完了

基本パラメータ 蓄電制御

管理システムに正常に接続しました

デバイスリスト

電力計 1台

デバイス名 Meter(COM1-12) オンライン
デバイスSN 20LBBE016L001094

SUN2000 1台

デバイス名 4.95KTL-JPL1(COM2-1) オンライン
デバイスSN 102110081137
接続されたデバイス 1台

前へ 完了

発電所を追加。

発電所の作成

発電所を追加 >

既存の発電所に接続 >

後で

発電所を追加

1 基本情報 2 デバイスの追加

*国/地域 国/地域 >

*発電所所属 発電所所属 >

*発電所名称

合計ストリング容量 (kWp)

*連系日 2021/04/07 >

*発電所の所在地 発電所の所在地を入力または特定してください。 >

*発電所の時間帯 (UTC+08:00)北京

所有者 所有者の名前

連絡方法 電話番号/メールアドレス

居住ユーザーの承認を得ました

入力した内容に第三者の個人情報が含まれている場合は、事前に承認を得てください。

次へ

発電所を追加

1 基本情報 2 デバイスの追加

設備SN デバイスのSNをスキャンしてください。

追加されたデバイス

設備SN番号
設備タイプ
設備型番
接続されたデバイス >

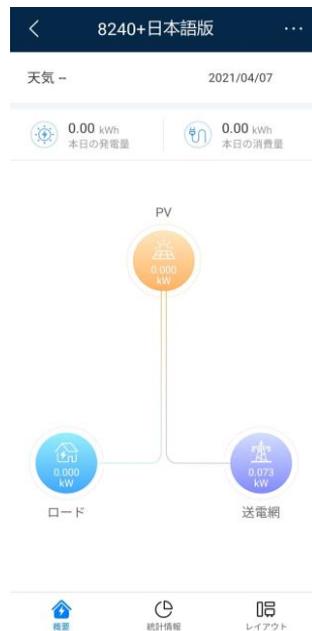
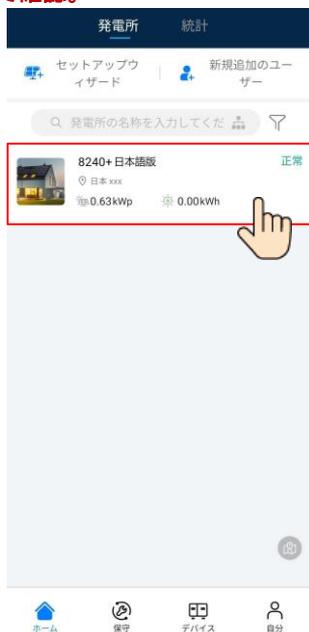
前へ 提出

所有者アカウントを作成。



4. デバイスのステータスを確認

・デバイスのステータスをリモートで確認。



・デバイスの試運転を使用してデバイスのステータスを確認



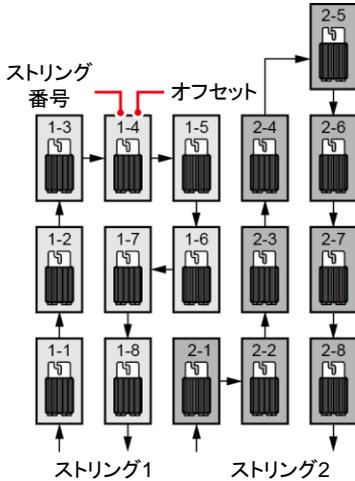
4. デバイスのステータスを確認



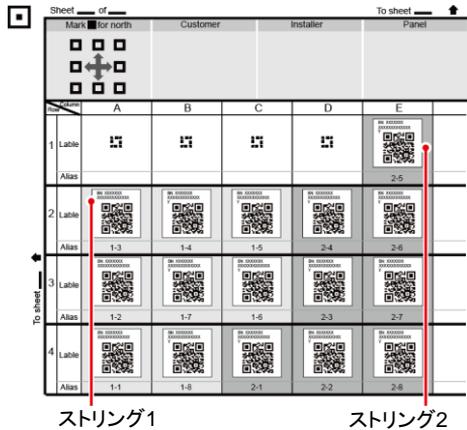
よくある質問1.デバイスの試運転を使用したPVモジュールの物理配置設計 (オプティマイザを使用した場合向けのオプション)

手順1. Smart PVオプティマイザのSNラベルがHuawei物理レイアウトテンプレートに貼付されていることを確認します。

PVモジュールとオプティマイザの設置位置

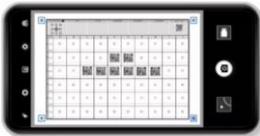


Huawei物理レイアウトテンプレート



テンプレートの撮影

写真の撮影方法



- 1.テンプレートを平らな面の上に置き、端末をテンプレートと平行に保ち、横表示モードで写真を撮影します。
- 2.角にある4つの配置点が枠内に収まるようにしてください。
- 3.QRコードが枠内に添付されるようにしてください。
- 4.写真の中のQRコードが光の反射や影などなくはっきりと見えるようにしてください。そうしないと、認識の精度が下がります。
- 5.QRコードが識別されない場合は、手でシリアル番号を紐付けることができます。

手順2.Smart PVオプティマイザの検索が成功したことを確認します。

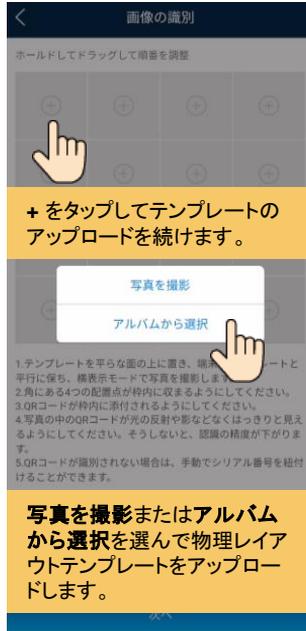
1. FusionSolarアプリを開き、インストーラーアカウントでintl.fusionsolar.huawei.comにログインし、自分 > デバイスの試運転を選択して、ソーラーインバータのWLANホットスポットに接続します。
2. installerを選択し、ログインパスワードを入力します。



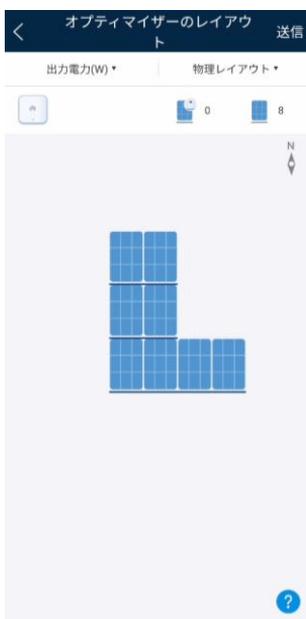
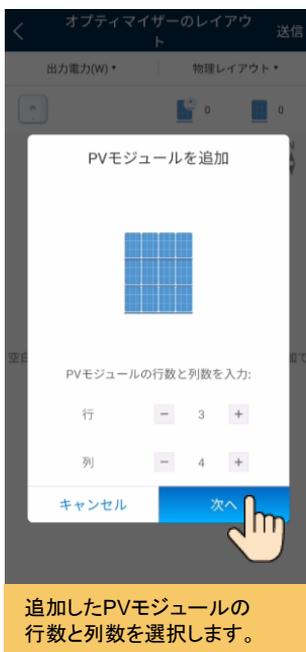
手順3.オプティマイザの物理レイアウトを設定します



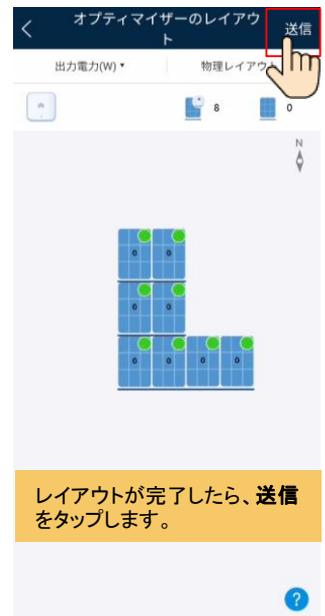
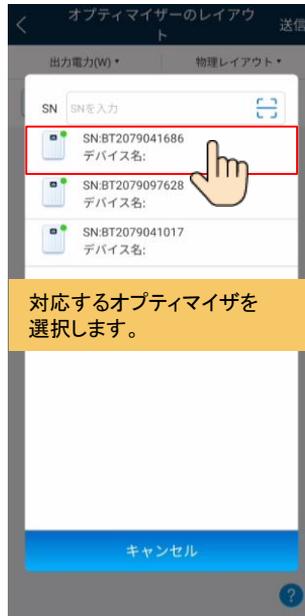
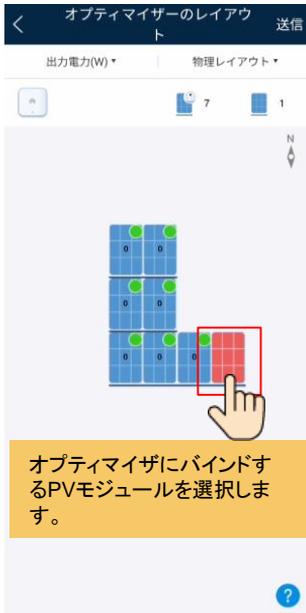
方法1: 画像の識別をタップして自動的にレイアウトします。



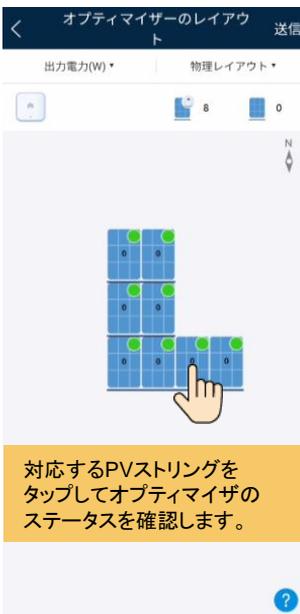
方法2: PVモジュールを追加をタップして手動でレイアウトします。



手順4. Smart PV最適化をバインドします

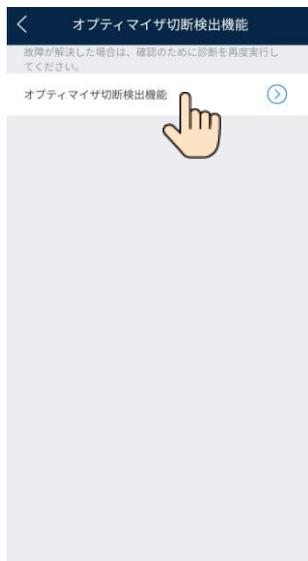


手順5. Smart PV最適化のステータスを確認します。



最適化のバインドを解除します。

手順6. オプティマイザの切断を検出します。



検出結果に基づいて不具合を
解消します。

よくある質問2.FusionSolar WebUIを使用したPVモジュールの物理配置設計 (オプティマイザを使用した場合向けのオプション)

installerユーザーで<https://intl.fusionsolar.huawei.com>にログインします。

1. ホームページでPV発電所をクリックして、
個別の発電所ページを表示します。



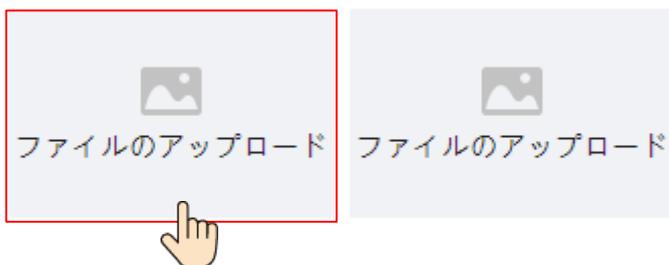
2. レイアウトをクリックします。



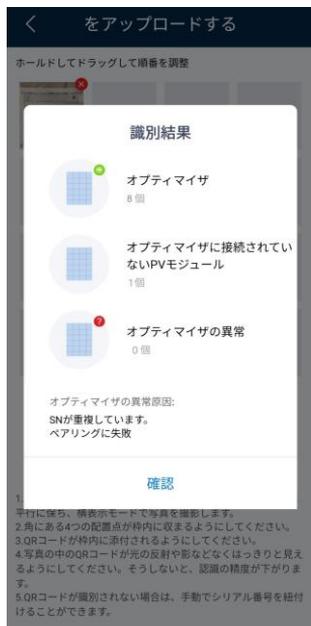
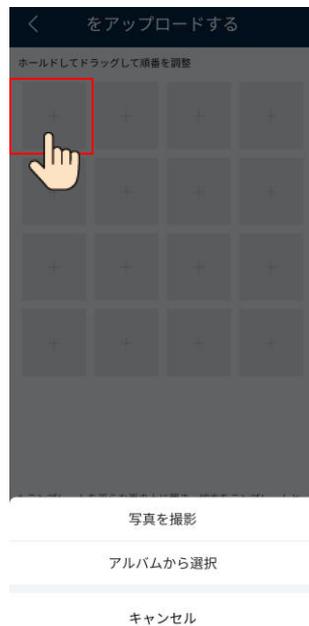
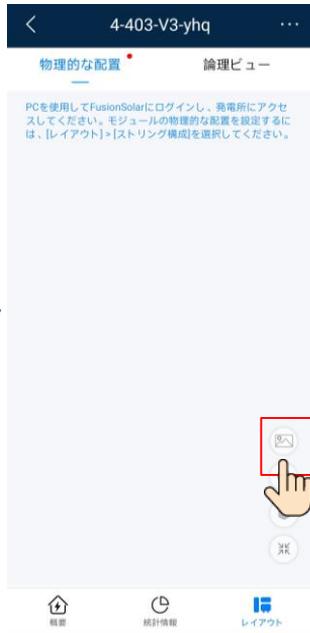
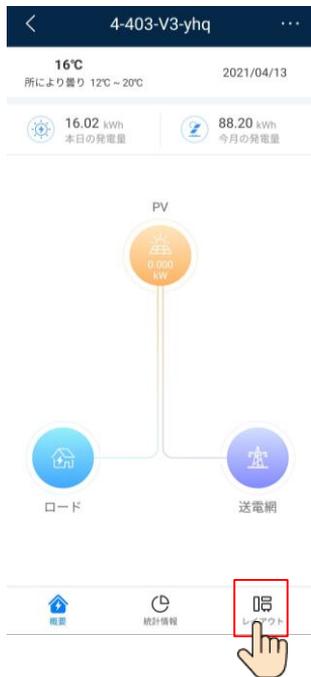
3. 物理的な配置をアップロードします。

方法1: WebUIを使用.

発電所レイアウト



方法2: アプリを使用。



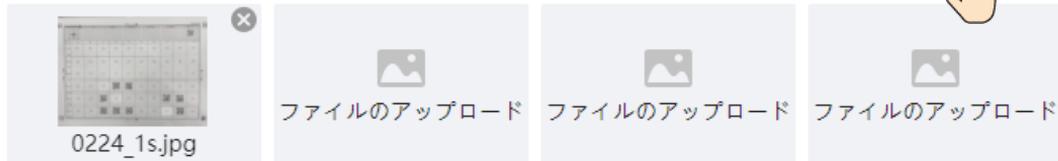
よくある質問2.FusionSolar WebUIを使用したPVモジュールの物理配置設計 (オプティマイザを使用した場合向けのオプション)

4. レイアウトを生成をクリックして物理的な配置図を生成します。

発電所レイアウト

描画を移動

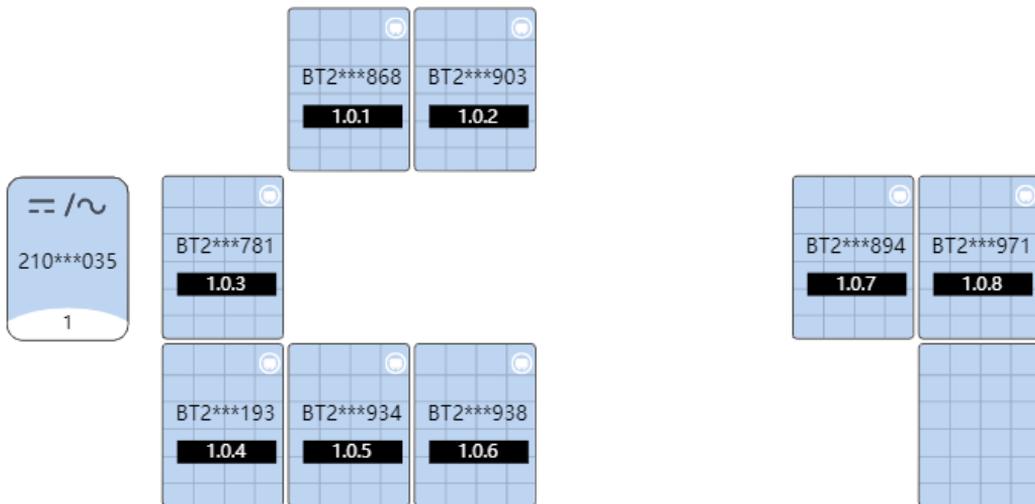
レイアウトを生成



5. 保存をクリックして生成された物理的な配置図を保存します。

結果

X

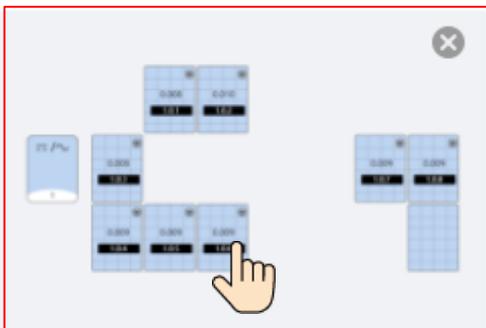


キャンセル

保存

6. 認識できないQRコードがある場合は、手動で最適マイザをバインドします。

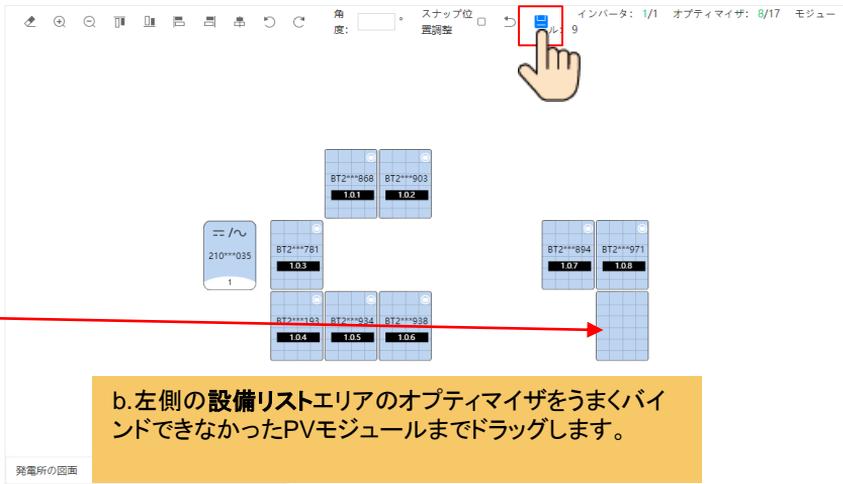
STRING構成



a. 保存された配置図をクリックします。

c. ツールバーの  をクリックして設定を保存します。

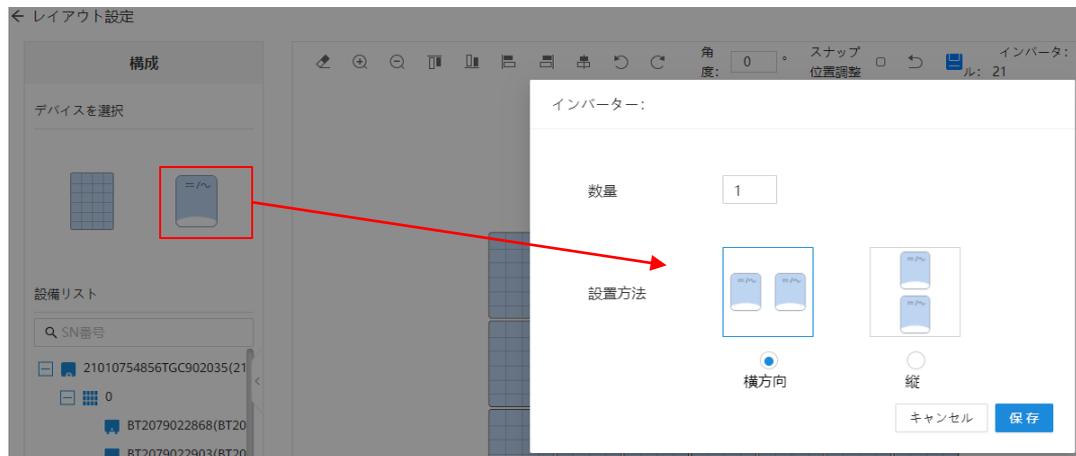
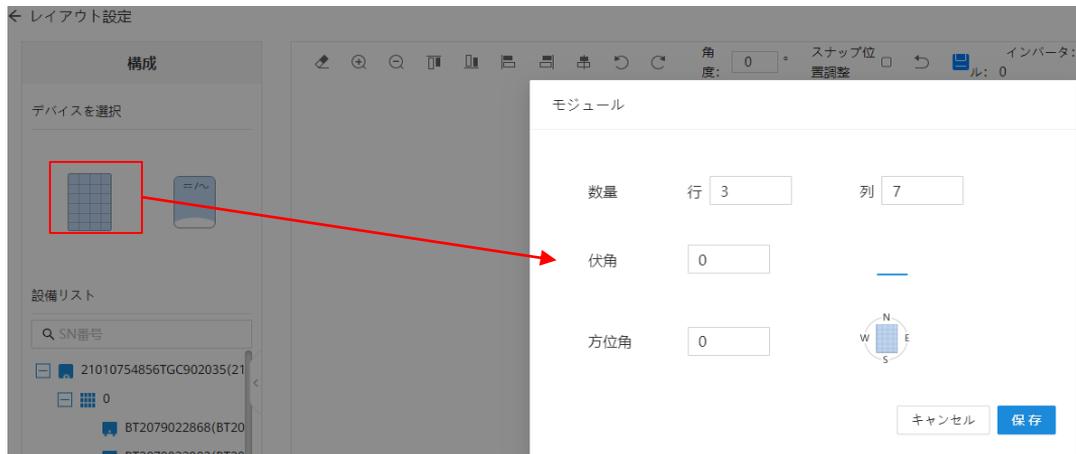
← レイアウト設定



b. 左側の設備リストエリアの最適マイザをうまくバインドできなかったPVモジュールまでドラッグします。

(オプション)物理配置図の手動構成。

1. PVモジュールを物理的な配置エリアにドラッグしてウィジェットの数を増やし、設置要件に従って角度を調整します。



2. 設備リストでデバイスを選択し、対応するアイコンの位置までドラッグしてアイコンにバインドします。

構成

デバイスを選択

設備リスト

検索 SN番号

21010754856TGC902035(21)

0

BT2079022903(BT20)

BT2079022781(BT20)

BT2079022193(BT20)

BT2079022934(BT20)

BT2***868

1.0.1

210***035

1

角度: 0° スナップ 位置調整

左側の設備リストエリアの最適マイザをうまくバインドできなかったPVモジュールまでドラッグします。

3. ツールバーの をクリックして設定を保存します。